

山麓探偵団通信

8月号

暑中お見舞い申し上げます

夏休みがはじまり、恒例のNHKラジオ全国子ども科学電話相談室に耳をかたむけています。昨年は、図鑑で調べる手間を惜しんだ横着な質問が多かったのですが、今年は質問の選択がよいのか、子どもならではの新鮮な着眼が多く、また答へ方にも工夫がみられ、連日つらながら聞いています。

昆虫や植物などを、実にごまかく観察している幼児がいることにも(なんと、昆虫の定義を口にした五歳の子がいました)おどろぎます。デジタル時代の子どもたちも、すてたもんじやない!と、うれしくなりました。

さて、七月の探偵団は十四日の木曜日のみの活動でしたが、養田団長の玉手箱を開けてもらったよつな、貴重な一日でした。

参加団員の感想

霧の中、はじめて山麓探偵団に参加といつことで、ワクワクドキドキしながら、加藤信子さんに連れていっていただきました。まず、養田団長のミニレクチャーが勉強になりました。仙石



<ユウスゲの群落の中で>

原溼原と梨が原との比較 絶滅危惧種 帰化植物などのお話は、たいへん興味ふかく、また、観察のまとめ方、写真の撮り方も参考になりました。観察会の事前に、参加者全員で予習することは、大切ですね。

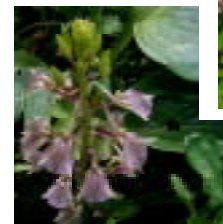
その後、じつさいに演習場に入って、草原から樹林へと、たくさん種類の植物を観察しましたが、ユウスゲ、ヤナギランの群生を見ることができ、大きな収穫でした。

また、養田さんのお気に入りの丘での昼食は、最高でした。さすが、梨が原を知り尽くしているらしいですね。初心者の違和感もなく、楽しく有意義な一日でした。ありがとうございました。(M.S.)



ヤナギラン

スズムシソウ



富士山五合目で自然観察員として活動をはじめたことが、わたしが「自然」に目覚めたきっかけでした。富士山麓という大自然にどっぷり浸かって、周りの自然環境を、まったく当たり前のものとして生活してきましたので、環境保全の認識を自分の中に取り入れるまでには、頭の切り替えが大変でした。今回の活動の中でも、団長さんが梨が原に新しい堤防や道路ができているのを憂えておられました、そのとおりだと思えます。希少植物などの観察を地道に続けてデータを出したとしても、悪用される可能性があるのでは、発表して良いのか悪いのか、わからないとおっしゃったことも印象に残っています。

いろいろな花の名前をおぼえたことを自分の糧として、今後の参考にしたいと思います。ありがとうございました。(T.O.)

お知らせ

今年前期のスケジュールも好評のうちに行うことができました。後期の日程がほぼ決まりました。お手元の予定表に記入し、どんな出逢いがあるか楽しみにしてください。

九月以降の日程

- 九月八日(木)・十日(土)
- 十月十三日(木)・十五日(土)
- 十一月五日(土)・十日(木)
- 十二月

八月の活動はお休みです。どうぞ個人的に観察や、探査などしてみましよう。

九月の探偵団活動

「表富士の古道を歩こう」

伊藤浩美団長に、はじめての場所を案内していただきます。

集合：午前九時に旭日丘セブンイレ

ブン横の広い駐車場

参加費：二二〇〇円

持物：昼食、敷物、雨具、虫眼鏡等

申込締切：それぞれ二日前までに

あみんまでお願いします。

発行：山麓探偵団事務局

電話：〇五五五・六五・七〇三三

編集人：樋口裕峯